

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	川上観光「お・も・て・な・し」事業
事業主体 (連絡先)	川上村 南佐久郡川上村大深山525
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	691,200 円 (うち支援金: 460,000円)

#### 事業内容

村の観光資源について村民参加で掘り起し、PR手法等の検討を行うため、観光協会、商工会、一般村民、役場をメンバーとする委員会の開催を行い、観光パンフレットの制作検討と川上村の主要観光地への道案内を行う看板の設置を行った。

観光パンフレットの制作については、現在あるパンフレットに一定の評価があり、経費削減の観点からも、新たに作成するより、改訂を行いながら増刷していくとの結論になった。

看板設置については、川上村の主要観光地を目的とした観光客が必ず通過する箇所に道路案内看板を設置した。



【収穫された野菜】

#### 【目標・ねらい】

- ① 村の観光資源について、村民参加で掘り起こす。
- ② 観光パンフレットと道案内看板を連動させ、効率的な情報伝達を行う。
- ③ 観光客の増加による観光産業の収益拡大を行う。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今回設置した看板は、観光客が川上村を訪れた際の主要幹線道路途中に位置し、多くの観光客の目に触れる交通要所である。

川上村は、金峰山や千曲川源流、金峰山荘、廻り目平キャンプ場で大勢のお客さんが訪れるが、誘導案内看板が少なく観光客から道順を尋ねる問い合わせが多かった。

今回、この事業により、観光客の道順を尋ねる問い合わせも少なくなり、看板のデザインについて、川上村らしい自然を背景に、村のマスコットキャラクターを活用したかわいらしいデザインとしたことで、多くの方から評価の高い意見をいただき、村のPRにつながった。

#### 今後の取り組み

平成29年2月3日、川上村と沖縄県恩納村は、姉妹都市友好交流の調印を行った。

恩納村は年間260万人もの観光客が訪れている沖縄県屈指のリゾート地である。恩納村観光事業のノウハウや様々な観点において見習うべきことが多いと感じている。

今後、川上村の観光戦略としては、引き続き、観光協会、商工会、一般村民が一堂に会し、観光に関する話し合いを設けるとともに、恩納村の協力も得ながら、川上村の観光振興に取組みたいと考えている。

#### ※自己評価【 C 】

- 【理由】
- ・観光資源の掘り起しについて、外部有識者から意見を聞くことが出来なかった。
  - ・事業の進捗が遅れ、当年度の観光客増加が図れなかった。
  - ・村内の他の箇所にも看板を設置する計画であったが、関連する事業の進捗により実施できなかった。